

Flex Network アナログユニット
ユーザーズマニュアル

はじめに

このたびは、(株)デジタル製 Flex Network 用アナログ (AD 変換 / DA 変換) ユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

Flex Network ユニットは、(株)デジタル製 GLC シリーズ、LT シリーズ、および GP3000 シリーズ FLEX NETWORK ボードタイプ (3 シリーズ併せて、これより「GLC」と称します) 用のオリジナル省配線システムです。

本書は Flex Network 用アナログ (AD 変換 / DA 変換) ユニットの概要とシステムに組み込んでご使用いただくまでの手順について説明しています。

ご使用にあたっては、本書をよくお読みになり、Flex Network ユニットの正しい取り扱い方法と機能を十分にご理解いただきますようお願いいたします。

Flex Network 用アナログ (AD 変換 / DA 変換) ユニット (FN-AD04AH11 / FN-DA04AH11) は CE マーキング、UL/c-UL (CSA) 規格未対応品です。

お断り

- (1) 本製品および本書の内容の、一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- (2) 本製品および本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- (3) 本製品および本書の内容に関しては、万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載もれなど、ご不審な点がございましたらご連絡ください。
- (4) 本製品を使用したことによるお客様の損害その他の不利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

© Copyright 2000 Digital Electronics Corporation. All rights reserved.

FLEX NETWORK® は (株) デジタルの登録商標です。
本書では LogiTouch を LT と称しています。

目次

| | |
|---------------------------|---|
| はじめに | 1 |
| 目次 | 2 |
| 安全に関する使用上の注意 | 4 |
| マニュアル表記上の注意 | 6 |
| Flex Network ユニットとは | 6 |
| Flex Network 対応機種 | 7 |
| ドライバについて | 7 |

第 1 章 概要

| | |
|---------------------|-----|
| 1.1 システム構成 | 1-1 |
| 1.2 オプション機器一覧 | 1-3 |

第 2 章 仕様

| | |
|---|------|
| 2.1 一般仕様 | 2-1 |
| 2.1.1 電氣的仕様 | 2-1 |
| 2.1.2 環境仕様 | 2-1 |
| 2.1.3 外観仕様 | 2-2 |
| 2.2 性能仕様 | 2-2 |
| 2.2.1 通信仕様 (Flex Network 仕様) | 2-2 |
| 2.2.2 Flex Network アナログユニット入出力仕様 | 2-2 |
| 2.3 アナログ特性図 | 2-4 |
| 2.4 アナログ / デジタル変換 | 2-5 |
| 2.5 4チャンネルアナログユニット接続図 | 2-6 |
| 2.6 各部名称とその機能 | 2-8 |
| 2.6.1 Flex Network 4チャンネルアナログユニットの各部名称とその機能 | 2-8 |
| 2.7 外観図と各部寸法図 | 2-14 |
| 2.7.1 Flex Network アナログユニット外観図 | 2-14 |

第 3 章 設置と配線

| | |
|---|-----|
| 3.1 取り付け方法 | 3-1 |
| 3.1.1 Flex Network アナログユニットの取り付け / 取り外し | 3-1 |
| 3.2 配線について | 3-3 |
| 3.2.1 Flex Network 通信ケーブル | 3-3 |
| 3.2.2 ユニット電源ケーブル | 3-6 |
| 3.2.3 アナログ入出力ケーブル | 3-6 |
| 3.2.4 通信ケーブル配線時の注意事項 | 3-7 |

第4章 異常処理

| | | |
|-------|----------------------------|-----|
| 4.1 | トラブルシューティングの前に | 4-1 |
| 4.2 | エラーコードの表示方法 | 4-2 |
| 4.3 | GLC2000/LTシリーズの異常処理 | 4-3 |
| 4.3.1 | GLC2000/LTシリーズのトラブルシューティング | 4-3 |
| 4.3.2 | GLC2000/LTシリーズのエラーコード一覧 | 4-4 |
| 4.4 | GP3000シリーズの異常処理 | 4-5 |
| 4.4.1 | GP3000シリーズのトラブルシューティング | 4-5 |
| 4.4.2 | GP3000シリーズのエラーコード一覧 | 4-6 |
| 4.5 | アフターサービス | 4-8 |

索引

安全に関する使用上の注意

本書には、本製品を正しく安全にお使いいただくための安全表記が記述されています。本書ならびに関連マニュアルをよくお読みいただき、本製品の正しい取り扱い方法と機能を十分にご理解いただきますようお願いします。

絵表示について

本書では、本製品を正しく使用していただくために、注意事項に次のような絵表示を使用しています。ここで示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しています。

その表示と意味は次のようになっています。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う内容を示します。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

危険

- ・ 非常停止回路やインターロック回路などは本製品の外部で構成してください。これらの回路を本製品の内部で構成すると、本製品が故障した場合、システムの暴走、破損、および事故の恐れがあります。
- ・ 重大な事故に繋がる恐れのある出力信号については、外部で監視するようにシステムを設計してください。
- ・ 本製品は一般工業などを対象とした汎用品として開発されたもので、人命に関わるような状況下での使用される機器、またはシステムに用いられることを目的として設計、製造されたものではありません。原子力、電力、航空宇宙、医療、乗用移動体など特殊用途への使用をご検討の場合は、株式会社デジタル営業担当までお問い合わせください。

警告

- ・ 取り付け、取り外し、配線作業、保守、および点検は必ず電源を切って行ってください。感電、火災の恐れがあります。
- ・ 本製品の解体、改造はしないでください。感電、火災の恐れがあります。
- ・ 可燃性ガスのあるところでは使用しないでください。爆発の恐れがあります。
- ・ 取扱説明書、およびマニュアルに記載された仕様以外での環境で使用しないでください。仕様の範囲外で使用すると、感電、火災、誤動作、および故障の恐れがあります。
- ・ 通電中は端子に触れないでください。感電、誤動作の恐れがあります。

注意

- ・ 通信ケーブルや入出力信号線の配線は高電圧線、大電流線、インバータなどの高周波線および動力線とは別ダクトにしてください。ノイズによる誤動作の恐れがあります。
- ・ 取り付けは取扱説明書、およびマニュアルの指示に従い確実に行ってください。正しく取り付けが行われていないと、誤動作、故障、および落下の恐れがあります。
- ・ 配線は取扱説明書、およびマニュアルの指示に従い確実に行ってください。正しく配線が行われていないと、誤動作、故障、および感電の恐れがあります。
- ・ 本製品内に切り粉、配線くず、水、液状のものなどの異物が入らないようご注意ください。誤動作、故障、感電、および火災の恐れがあります。
- ・ 本製品を破棄するときは、産業廃棄物として扱ってください。

故障しないために

- ・ 直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所での保管、および使用は避けてください。
- ・ 本製品は精密機器ですので衝撃を与えたり、振動の加わる場所での保管、および使用は避けてください。
- ・ 本製品の通風口をふさいだり、熱がこもるような場所での使用は避けてください。
- ・ 温度変化が急激で結露するような場所での使用は避けてください。
- ・ 本製品はシンナーや有機溶剤で拭かないでください。

マニュアル表記上の注意

本書で使用している用語や記号等の意味は以下のとおりです。

| | |
|---|---|
| 重要 | この表示の説明に従わない場合、機器の異常動作やデータの消失などの不都合が起こる可能性があります。 |
|  | 参考事項です。補足説明や知っている则便利な情報です。 |
| 1 | 脚注で説明している語句についています。 |
| 参照 | 関連事項の参照ページを示します。 |
| | 操作手順です。番号に従って操作を行ってください。 |
| GLC | (株)デジタル製グラフィック・ロジック・コントローラ「GLCシリーズ」の総称です。 本書では(株)デジタル製グラフィック・ロジック・コントローラ「LTシリーズ」およびプログラマブル表示器「GP3000シリーズFLEX NETWORKボードタイプ」も本総称に含まれています。 |

Flex Networkユニットとは

GLCでFlex Networkシステムを実現するためには、各種Flex Networkユニットが必要です。

本書でのFlex Networkユニットとは、以下の機種を指します。

| 総称 | 種類 | 型式 | 占有局数 | 掲載マニュアル | |
|------------------|-------------|--------------|--------------------------|------------------------------|----|
| Flex Networkユニット | I/Oユニット | FN-X16TS41 | 1 | DIOユニット ユーザーズマニュアル | |
| | | FN-X32TS41 | 2 | | |
| | | FN-Y16SK41 | 1 | | |
| | | FN-Y16SC41 | 1 | | |
| | | FN-XY08TS41 | 1 | | |
| | | FN-XY16SK41 | 1 | | |
| | | FN-XY16SC41 | 1 | | |
| | | FN-XY32SKS41 | 4 | | |
| | | FN-Y08RL41 | 1 | | |
| | アナログユニット | FN-AD02AH41 | 1 | 2チャンネルアナログユニット ユーザーズマニュアル | |
| | | FN-DA02AH41 | 1 | | |
| | | FN-AD04AH11 | 4 | | 本書 |
| | | FN-DA04AH11 | 4 | | |
| | 1軸位置決めユニット | FN-PC10SK41 | 4 | 1軸位置決めユニット ユーザーズマニュアル | |
| FN-PC10LD41 | | - | | | |
| 高速カウンタユニット | FN-HC10SK41 | 8 | 高速カウンタユニット ユーザーズマニュアル | | |

Flex Network 対応機種

Flex Network ユニットは以下の機種に対応しています。

| 総称 | シリーズ名 | 機種名 | 型式 | | |
|-------------|------------------------|-------------|------------------------|--|----------------------|
| GLC | GLC2000シリーズ | GLC2300シリーズ | GLC2300T GLC2300L | GLC2300-TC41-24V GLC2300-LG41-24V | |
| | | GLC2400シリーズ | GLC2400T | GLC2400-TC41-24V | |
| | | GLC2500シリーズ | GLC2500T | GLC2500-TC41-24V GLC2500-TC41-200V | |
| | | GLC2600シリーズ | GLC2600T | GLC2600-TC41-24V GLC2600-TC41-200V | |
| | | LT | LTシリーズ | LT TypeB | GLC150-BG41-FLEX-24V |
| LT Type B+ | GLC150-BG41-XY32KF-24V | | | | |
| LTC Type B+ | GLC150-SC41-XY32KF-24V | | | | |
| LT Type C | GLC150-BG41-RSFL-24V | | | | |
| GP | GP3000シリーズ | GP-3300シリーズ | AGP-3300L AGP-3300T | AGP3300-L1-D24-FN1M AGP3300-T1-D24-FN1M | |
| | | GP-3400シリーズ | AGP-3400T | AGP3400-T1-D24-FN1M | |
| | | GP-3500シリーズ | AGP-3500T | AGP3500-T1-D24-FN1M AGP3500-T1-AF-FN1M | |
| | | GP-3600シリーズ | AGP-3600T | AGP3600-T1-D24-FN1M AGP3600-T1-AF-FN1M | |
| | | | | | |
| | | | | | |

ドライバについて

Flex Network ユニットを使用するためにはドライバが必要です。

GLC2000 シリーズ、LT シリーズの場合

GP-PRO/PB C-Package(Pro-Control Editor)またはLT Editor で Flex Network ドライバを選択します。

[I/O 設定]- [I/O ユニット設定] にて指定のユニットが表示されない場合はドライバを最新に更新してください。

最新のドライバは(株)デジタルの Web サイトからダウンロードできます。

ホームページ URL

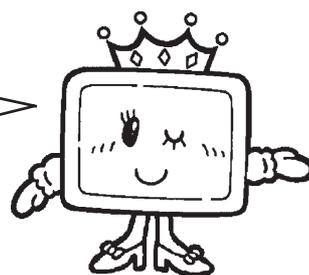
<http://www.proface.co.jp/>

GP3000 シリーズの場合

GP-Pro EX で I/O ドライバとして「Flex Network ドライバ」を選択します。

MEMO

このページは、空白です。
ご自由にお使いください。



第1章 概要

1. システム構成
2. 各種ユニット一覧

アナログ/デジタル変換ユニット(FN-AD04AH11)は、アナログ信号を12ビットのデジタル信号に変換して、GLCに入力するユニットです。

またデジタル/アナログ変換ユニット(FN-DA04AH11)は、GLC内部で演算された12ビットのデジタル信号をアナログ信号に変換して出力するユニットです。

以下に各アナログユニットを使ったFlex Networkシステム構成について説明します。

1.1 システム構成

Flex Networkに各種Flex Networkユニットを接続します。

Flex Networkに接続するチャンネルは、CH1とCH2の2チャンネルあり、CH1とCH2には同一通信データが出力されます。どちらか一方のチャンネルを使う場合、CH1、CH2のどちらでも使用できます。

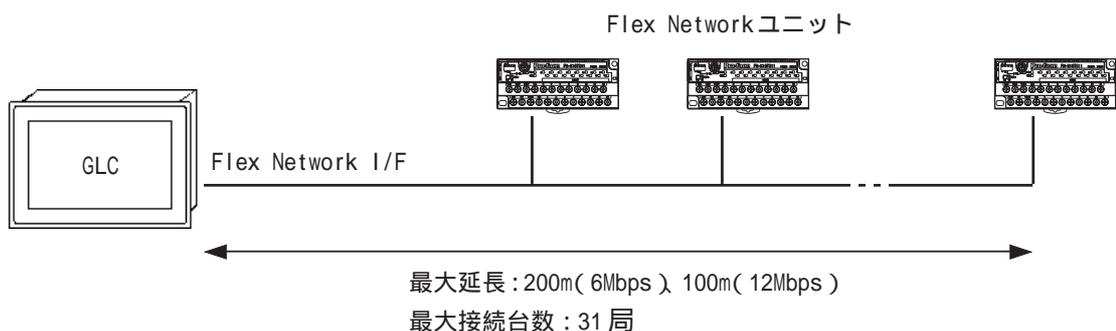
Flex Networkに接続できるFlex Networkユニットの最大接続局数は、1チャンネルだけを使用する場合は31局、2チャンネル使用する場合は一方に31局、もう一方に32局の計63局となります。

重要

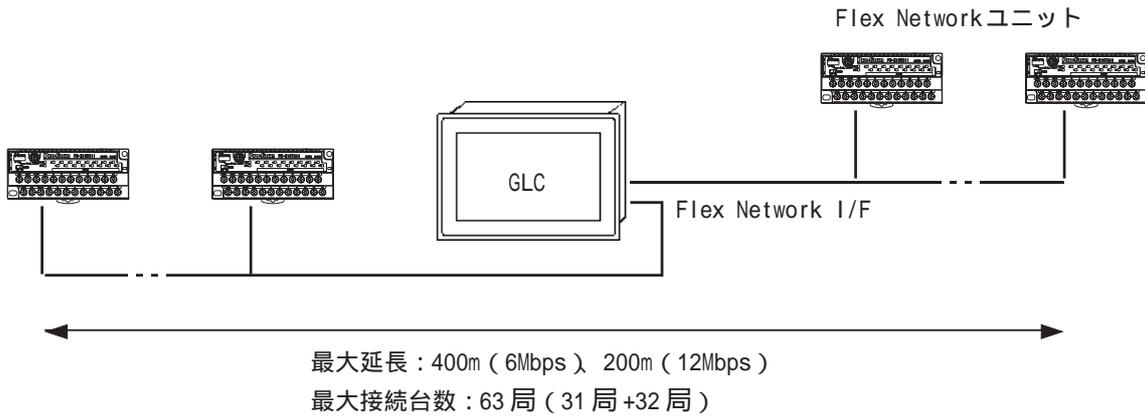
- ・ 上記接続局数は、1台のFlex Networkユニットあたりの占有局数が1局(16bit)の場合です。本アナログユニットの場合は、AD変換ユニット/DA変換ユニットそれぞれが一台あたり4局(64bit)占有します。
- ・ Flex Networkは高速通信技術を用いています。本マニュアルで指定する通信ケーブル以外のケーブルを使用すると、性能が保証されません。必ず指定のケーブルを使用してください。

参照 3.2.1 Flex Network通信ケーブル

1チャンネル使用する場合

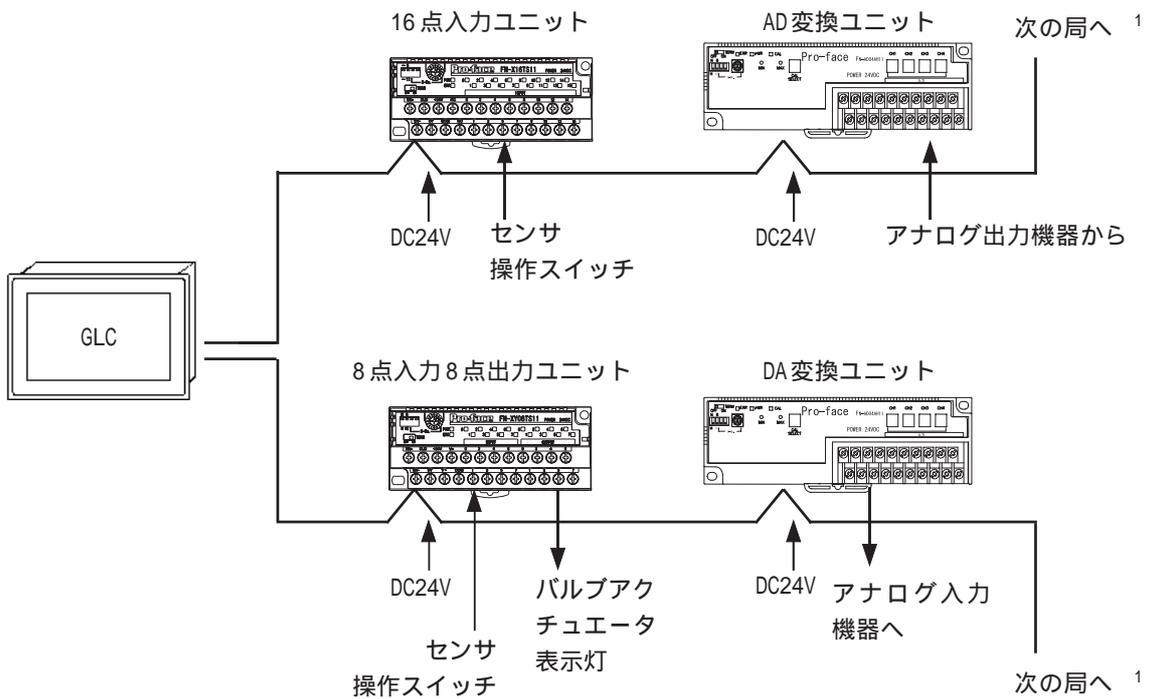


2チャンネル使用する場合



- ・ 2チャンネル使用時は、どちらかのチャンネルに32局まで接続できます。

システム構成例



- ・ 6Mbpsでの使用を推奨します。

1各チャンネルの終端のFlex Networkユニットは、必ずターミナルスイッチ (TERM) をONにしてください。

1.2 オプション機器一覧

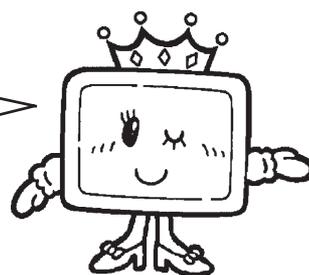
Flex Networkアナログユニットのオプション品です。オプション品は別売です。

オプション

| 品名 | 型式 | 概要 |
|------------------------|--------------------------|-------------------------|
| Flex Network 通信ケーブル | FN-CABLE2010-31-MS(10m) | GLC本体と各ユニットを接続するケーブルです。 |
| | FN-CABLE2050-31-MS(50m) | |
| | FN-CABLE2200-31-MS(200m) | |

MEMO

このページは、空白です。
ご自由にお使いください。



第2章 仕様

1. 一般仕様
2. 性能仕様
3. アナログ特性図
4. アナログ/デジタル変換
5. 4チャンネルアナログユニット接続図
6. 各部名称とその機能
7. 外観図と各部寸法図

Flex Network アナログユニットの一般仕様、性能仕様、入出力回路などの仕様、および各部名称と外観図について説明します。

2.1 一般仕様

2.1.1 電氣的仕様

ユニット制御部

| 項目 | FN-AD04AH11 | FN-DA04AH11 |
|----------|--|-------------|
| ユニット定格電圧 | DC24V | |
| 電圧許容範囲 | DC20.4 ~ 28.8V | |
| 許容瞬時停電時間 | 10ms以下 (電源電圧DC24V) | |
| 突入電流 | 30A以下 | |
| 消費電力 | 4.8W以下 | 7.2W以下 |
| 絶縁耐力 | AC1500V 10mA 1分間 (入出力一括とFG間) AC500V 1分間 (電源一次側と2次側) | |
| 絶縁抵抗 | DC500V絶縁抵抗計において10M 以上 (充電部一括と非充電部間) | |

2.1.2 環境仕様

| | |
|--------|--|
| 使用周囲温度 | 0 ~ 55 |
| 保存周囲温度 | -25 ~ +70 |
| 使用周囲湿度 | 30 ~ 95%RH (結露しないこと) レベルRH-1 |
| 保存周囲湿度 | 30 ~ 95%RH (結露しないこと) レベルRH-1 |
| じんあい | 0.1mg/m ³ 以下 導電性じんあいがいないこと |
| 腐食性ガス | 腐食性ガスがないこと |
| 耐振動 | 5 ~ 55Hz 60m/s ² X、Y、Z方向 各3回 |
| 耐ノイズ | ノイズ電圧: 1000Vp-p パルス幅: 1μs 立ち上がり時間: 1ns (ノイズシミュレータによる) |
| 耐静電気放電 | 接触放電法、6kV (IEC61000-4-2、レベル3) |

2.1.3 外観仕様

| | |
|------|--------------------|
| 取付方法 | 35mmDINレールまたはネジ取付 |
| 冷却方式 | 自然空冷 |
| 質量 | 約350g |
| 外形寸法 | W168 × H50 × D50mm |
| 保護構造 | IP30 |

2.2 性能仕様

2.2.1 通信仕様 (Flex Network 仕様)

| | GLC2000/LTシリーズ | GP3000シリーズ |
|--------|---|---|
| 通信形態 | 1:N | |
| 接続方式 | マルチドロップ接続 | |
| 通信距離 | 6Mbps時 200m/ch、12Mbps時 100m/ch | |
| 通信方式 | サイクリック時分割通信方式、半二重 | |
| 通信速度 | 6Mbps、12Mbps | |
| 通信I/F | 差動式、パルストランス絶縁方式 | |
| 誤りチェック | フォーマット検定、ビット検定、CRC-12検定 | |
| 接続局数 | 最大63局 I/O点数 1,008点 (ユニットによって占有 局数が異なります) | 最大63局 ビット変数入力 256点 ビット変数出力 256点 整数変数入力 64点 整数変数出力 64点 (ユニットによって占有局数が異なります) |

2.2.2 Flex Network アナログユニット入出力仕様

アナログ入力部仕様 (FN-AD04AH11)

| | |
|-------------|--|
| 分解能 | 12bit |
| 入力チャンネル数 | 4ch (固定) |
| 変換時間 | 2msec以下 |
| 入力レンジ | 0~5V (インピーダンス 1M) |
| | 1~5V (インピーダンス 1M) |
| | 0~10V (インピーダンス 1M) |
| | -5~5V (インピーダンス 1M) |
| | -10~10V (インピーダンス 1M) |
| | 0~20mA (インピーダンス 200) |
| | 4~20mA (インピーダンス 200) |
| 入力レンジ切換 | ロータリースイッチの設定による |
| キャリブレーション機能 | オフセット/ゲイン設定 各レンジ毎の上限値/下限値をスイッチにより設定 |
| 精度 | 0.3% / FS (25) |
| | 0.5% / FS (0~55) |
| 絶縁方式 | フォトカプラー絶縁 (入力端子 / 内部回路間) |
| 変換後処理 | 単純平均、移動平均処理 サンプルデータの最大 / 最小値の除去 |
| 変換タイミング | 全チャンネルを常時変換 (選択不可) |

アナログ出力部仕様 (FN-DA04AH11)

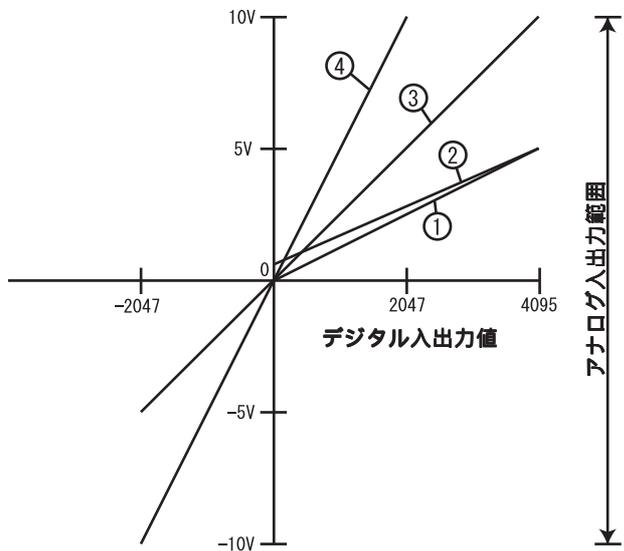
| | | |
|-------------------------|--|---|
| 分解能 | 12bit | |
| 出力チャンネル数 | 4ch (固定) | |
| 変換時間 | 2msec以下 | |
| 出力レンジ | 0 ~ 5V (インピーダンス 1K) | |
| | 1 ~ 5V (インピーダンス 1K) | |
| | 0 ~ 10V (インピーダンス 1K) | |
| | -5 ~ 5V (インピーダンス 1K) | |
| | -10 ~ 10V (インピーダンス 1K) | |
| | 0 ~ 20mA (インピーダンス 400) | 1 |
| 4 ~ 20mA (インピーダンス 400) | 1 | |
| 出力レンジ切換 | ロータリースイッチの設定による | |
| キャリブレーション機能 | オフセット/ゲイン設定 各レンジ毎の上限値/下限値をスイッチにより設定 | |
| 精度 | 0.3% / FS (25) | |
| | 0.5% / FS (0 ~ 55) | |
| 絶縁方式 | フォトカプラ絶縁 (出力端子 / 内部回路間) | |
| 変換タイミング | 全チャンネルを常時変換 (選択不可) | |

1 : FN-DA04H11 にて 4チャンネル同時に連続出力する場合は、1チャンネルあたりの出力電流が最大 10mA、または 4チャンネルの出力電流の合計が最大 40mA となるようにしてください。

2.3 アナログ特性図

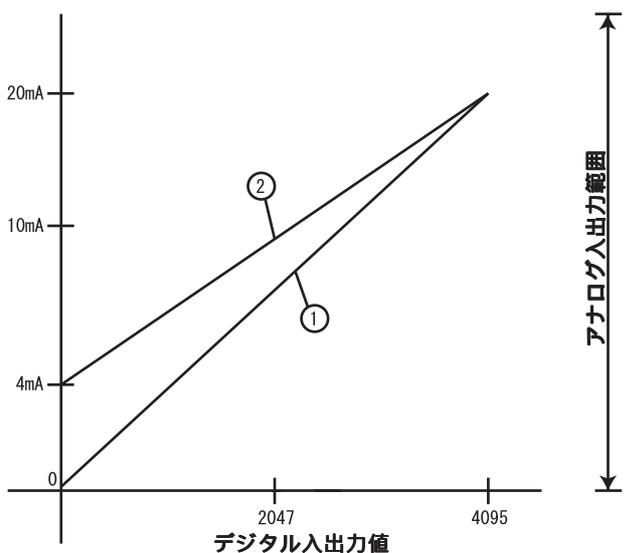
Flex Network用アナログユニットのアナログ特性図を示します。

電圧の場合



| | | | デジタル入出力値 | | | |
|---------|-----------|--|----------|---|------|------|
| | | | -2047 | 0 | 2047 | 4095 |
| 電圧値 (V) | 0 ~ 5V | | - | 0 | 2.5 | 5.0 |
| | 1 ~ 5V | | - | 1 | 3.0 | 5.0 |
| | 0 ~ 10V | | - | 0 | 5.0 | 10.0 |
| | -5 ~ 5V | | -5.0 | 0 | 5.0 | - |
| | -10 ~ 10V | | -10.0 | 0 | 10.0 | - |

電流の場合



| | | | デジタル入出力値 | | |
|----------|---------|--|----------|------|------|
| | | | 0 | 2047 | 4095 |
| 電流値 (mA) | 0 ~ 20V | | 0 | 10 | 20 |
| | 4 ~ 20V | | 4 | 12 | 20 |

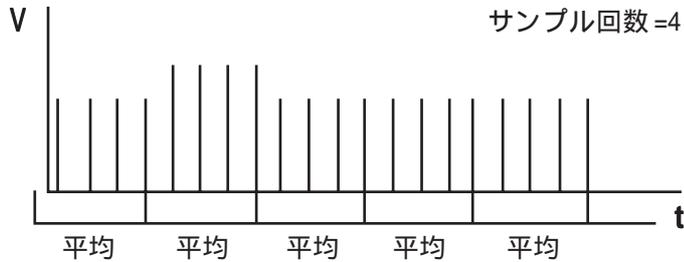
2.4 アナログ / デジタル変換

単純平均

設定されたサンプル回数により平均処理を行います。

各平均値がA/D入力値となります。

データの更新はサンプル回数の周期ごととなります。

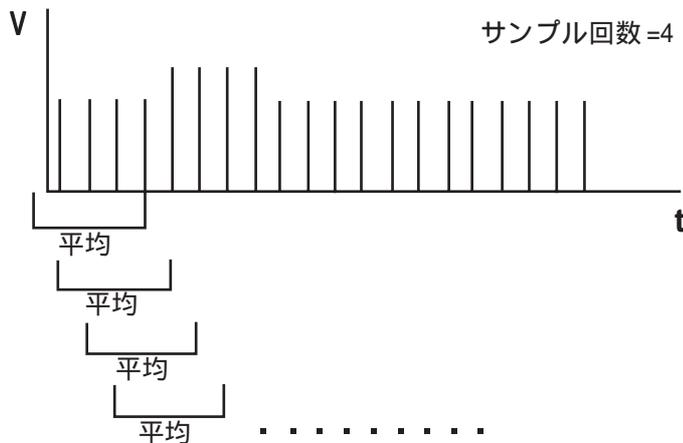


移動平均

設定されたサンプル回数により移動平均処理を行います。

各平均値がA/D入力値となります。

データの更新はサンプル回数の周期ごととなります。



最大 / 最小除外

除外しない場合

サンプル回数が「6」の場合、6回分の平均値

除外する場合

サンプル回数が「6」の場合、6回分のサンプル値のうち最大値 / 最小値を除外した
4回分の平均値

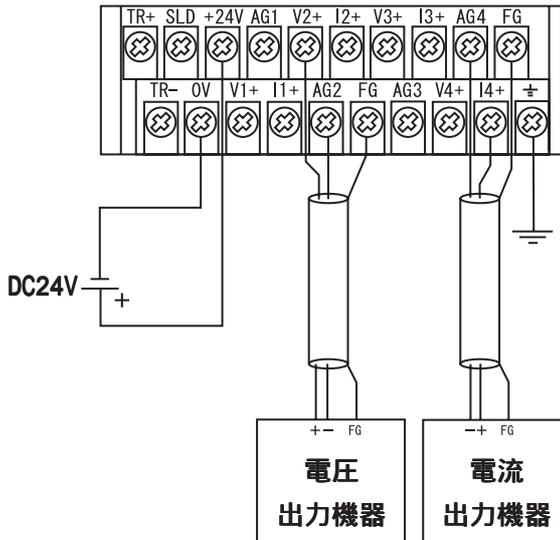
2.5 4チャンネルアナログユニット接続図

Flex Network用アナログユニットの入出力接続図と各回路図を示します。



- ・ アナログユニット本体電源と出力、およびセンサー電源はフィールドノイズの影響を考慮して別電源にすることをお勧めします。

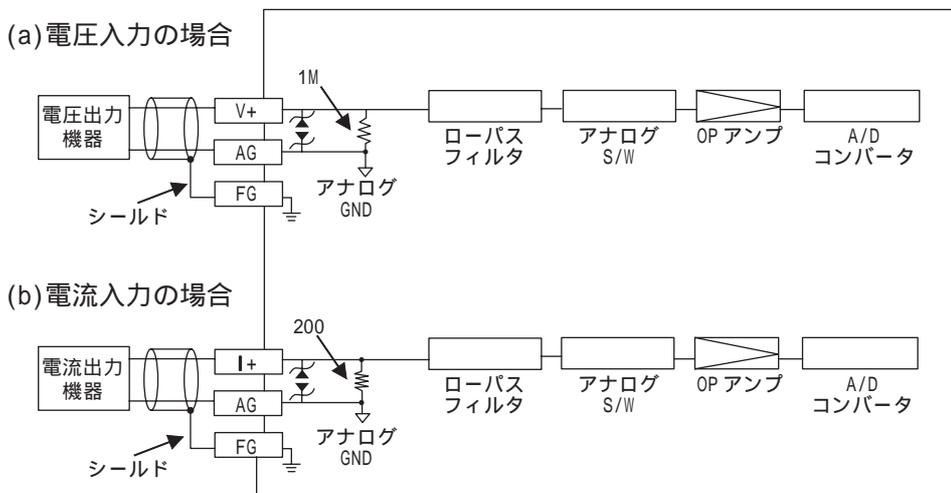
4チャンネルアナログ/デジタル変換ユニット接続図 (FN-AD04AH11)



ch1で電圧入力する場合に使用する端子..... V1+、AG1、FG*1

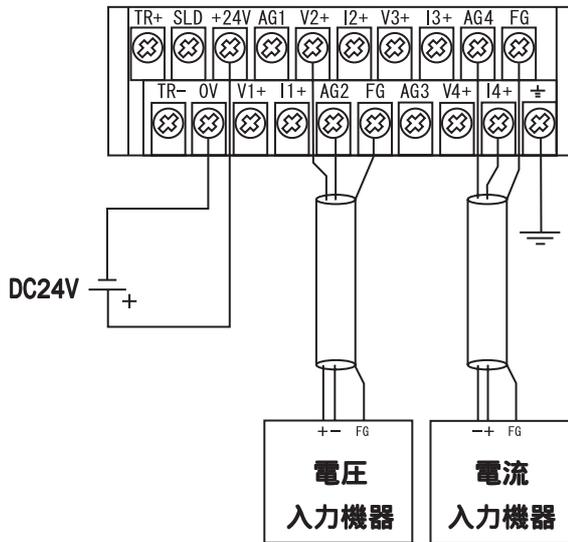
ch1で電流入力する場合に使用する端子..... I1+、AG1、FG*1

入力部回路図



*1 FGは2chにひとつです。

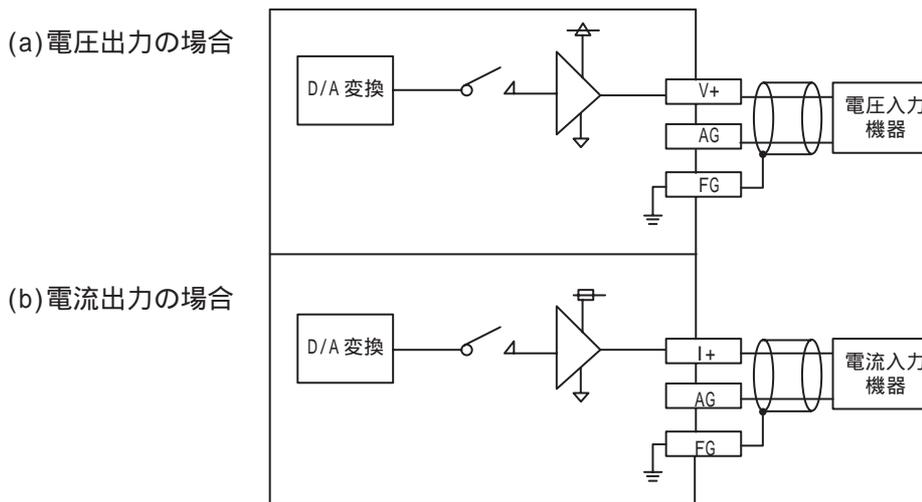
4チャンネルデジタル/アナログ変換ユニット接続図 (FN-DA04AH11)



ch1で電圧出力する場合に使用する端子..... V1+、 AG1、 FG*1

ch1で電流出力する場合に使用する端子..... I1+、 AG1、 FG*1

出力部回路図

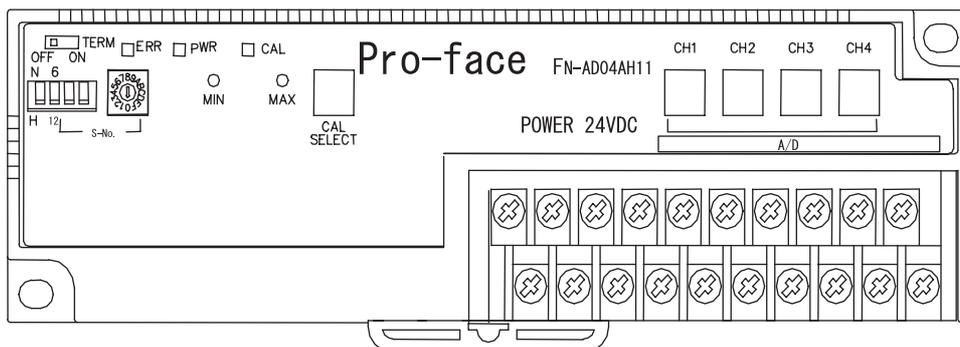


*1 FGは2chにひとつです。

2.6 各部名称とその機能

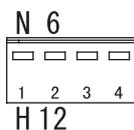
各種Flex Networkアナログユニットの各部名称とその機能を示します。

2.6.1 Flex Network 4チャンネルアナログユニットの各部名称とその機能



ディップスイッチ

出力ホールドの設定、通信速度の設定、およびS-No. (上1桁) の設定を行います。



S-No. (局番) スイッチ

S-No. (下1桁) の設定を行います。



ターミネータ

終端抵抗の接続のON/OFF を切り替えます。



ステータスLED

状態に応じて点灯します。

| ステータスLED | 点灯条件 |
|-------------|---|
| PWR (緑色LED) | 電源投入時に点灯 |
| ERR (赤色LED) | 通信エラー発生時に点灯 |
| CAL (緑色LED) | キャリブレーション発生時に点灯 キャリブレーション完了時に3回点滅 キャリブレーション終了時に消灯 |



- ・ 本ユニットにおけるキャリブレーションとは、オートキャリブレーション（自動調節機能）によって実際の入力値や出力値を設定された値となるよう補正をかけるということです。これにより、出力ユニットの場合では、0V出力と設定しても出力部のオペアンプ周囲温度などの条件により、出力値が0Vにならない場合があっても補正して0V出力します。

キャリブレーション選択スイッチ

4チャンネルアナログ/デジタル変換ユニット (FN-AD04AH11)

| 選択SW設定 | キャリブレーション対象 |
|--------|--------------------|
| 1 | CH1- ADの下限值、上限値の設定 |
| 2 | CH2- ADの下限值、上限値の設定 |
| 3 | CH3- ADの下限值、上限値の設定 |
| 4 | CH4- ADの下限值、上限値の設定 |
| 0、5~F | キャリブレーション無効 1 |

1: 出荷時は「0」に設定されています。

4チャンネルデジタル/アナログ変換ユニット (FN-DA04AH11)

| | |
|-------|--------------------|
| 1 | CH1- DAの下限值、上限値の設定 |
| 2 | CH2- DAの下限值、上限値の設定 |
| 3 | CH3- DAの下限值、上限値の設定 |
| 4 | CH4- DAの下限值、上限値の設定 |
| 0、5~F | キャリブレーション無効 1 |

1: 出荷時は「0」に設定されています。

キャリブレーション実行スイッチ

MIN: スイッチ押下でキャリブレーション選択スイッチにより選ばれたADまたはDAの下限値のキャリブレーションを実行

MAX: スイッチ押下でキャリブレーション選択スイッチにより選ばれたADまたはDAの上限値のキャリブレーションを実行

レンジ切り換えスイッチ

| レンジSW設定 | レンジ |
|---------|-----------|
| 0 | 0 ~ 5V 1 |
| 1 | 1 ~ 5V |
| 2 | 0 ~ 10V |
| 3 | -5 ~ 5V |
| 4 | -10 ~ 10V |
| 5 | 0 ~ 20mA |
| 6 | 4 ~ 20mAV |
| 7~F | ノーマルモード |

1: 出荷時は「0 (0 ~ 5V)」に設定されています。

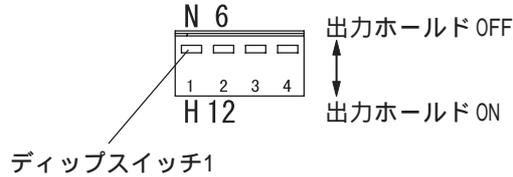
DIN レール取り外しフック

アナログユニットをDINレールから取り外す時に使用します。

4 チャンネルデジタル/アナログ変換ユニット (FN-DA04AH11) の出力ホールド設定

出力ホールド ON (Hold)

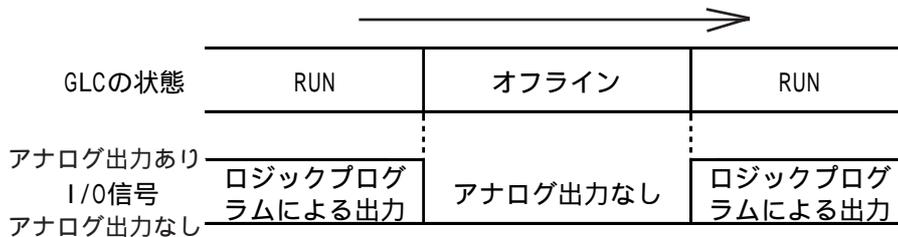
通信エラーが発生したとき、通信エラー発生前の通信サイクルで受信された出力の状態を保持します。次の通信サイクルで正しく受信されたとき、出力が更新されます。



出力ホールド OFF (Non Hold)

通信エラーが発生したとき、すべての出力は0 (OFF) にリセットされます。次の通信サイクルで通信が回復したとき、出力が復帰します。

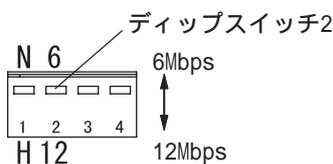
- 重要**
- 出力ホールド設定を使用した場合、通信異常時に異常直前のアナログ出力を保持するので、システムを安全側に制御するようなフェールセーフ機能を設けてください。
 - ロジックプログラムの RUN 状態から、オフラインモードへの移行またはリセットした場合の GLC および I/O 信号の動作は、出力ホールドの設定にかかわらず以下の通りです。オフラインモードへの移行やリセットは、これらの動作を十分考慮したうえで行ってください。



ただし、リセットの場合は、I/O信号がOFFになるタイミングは不定となります。

通信速度の設定

ディップスイッチ2で通信速度を切り替えます。6Mbpsと12Mbpsから選択できます。出荷時の設定は6Mbpsです。推奨通信速度は6Mbpsです。



S-No. (局番) の設定

S-No. は 1 ~ 63 までを 16 進数 (01h ~ 3Fh) で設定します。出荷時の設定は 0 です。

16 進数の上 1 桁をディップスイッチ 3、4 の ON/OFF で、下 1 桁を S-No. (局番) スイッチの 0 ~ F で設定します。



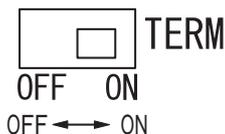
S-No. 設定例)

| S-No. | | ディップスイッチ | | S-No. (局番) スイッチ |
|-------|------|----------|-----|--------------------|
| 10進数 | 16進数 | 3 | 4 | |
| 1 | 01h | OFF | OFF | 1 |
| | | | | |
| 16 | 10h | OFF | ON | 0 |
| | | | | |
| 63 | 3Fh | ON | ON | F |
| | | | | |

終端抵抗の設定

伝送線の終端からの反射を防ぎます(終端インピーダンス調整)。

各チャンネルの最終端のFlex Networkユニットは、必ずターミナルスイッチをONにして終端抵抗を接続してください。



キャリブレーションの設定方法

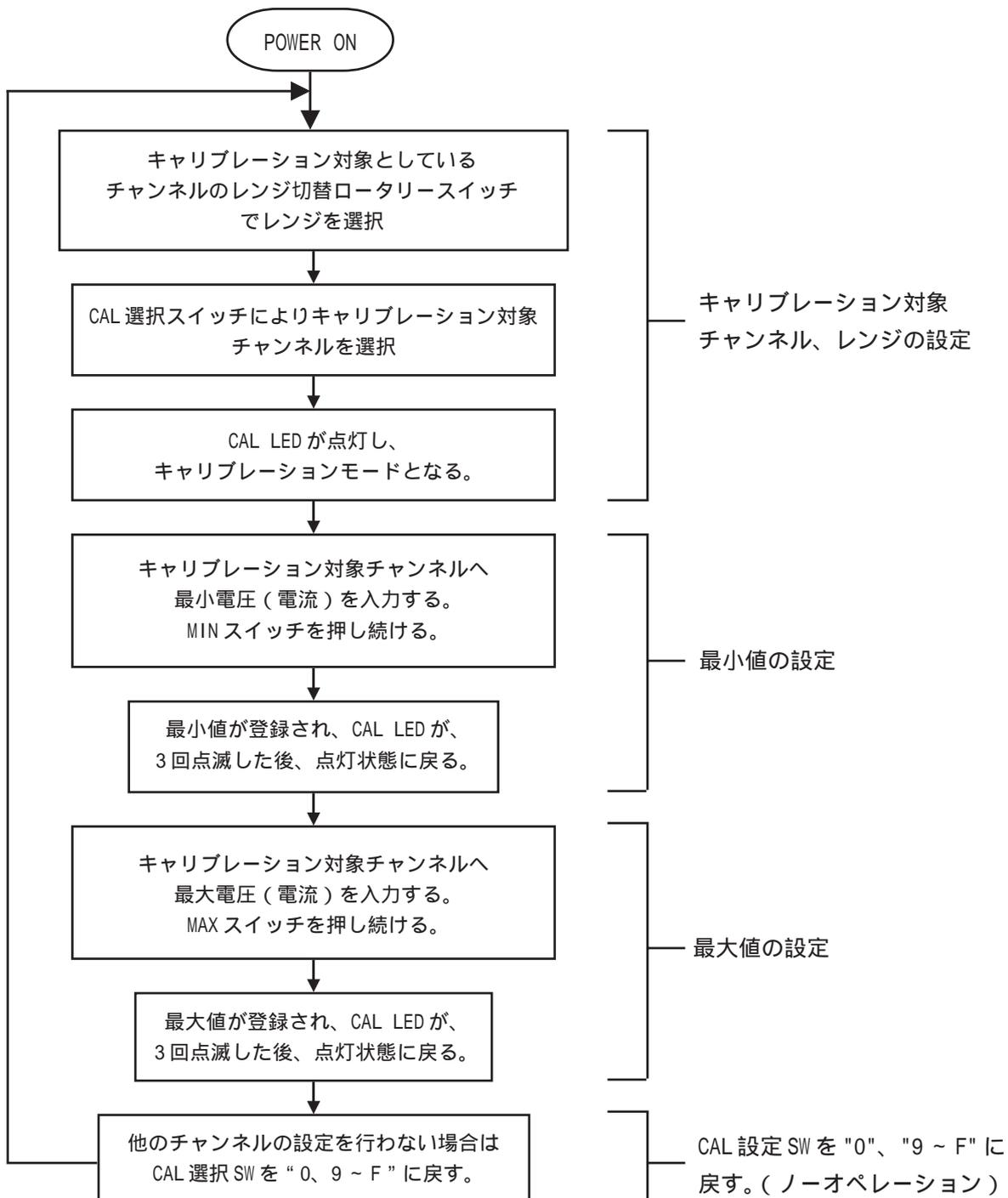
キャリブレーション (CAL) 選択スイッチを無効の状態 (0、9 ~ F) から設定 (1 ~ 8) へ切り替えることにより設定モードとなります。

キャリブレーション実行スイッチ (MIN、MAX)、キャリブレーション選択スイッチ、レンジ切り替えロータリースイッチを使用し、それぞれのチャンネル、レンジ毎に設定することができます。キャリブレーションを終了するにはキャリブレーション選択スイッチを無効 (ノーオペレーション) にします。操作手順を次ページに示します。



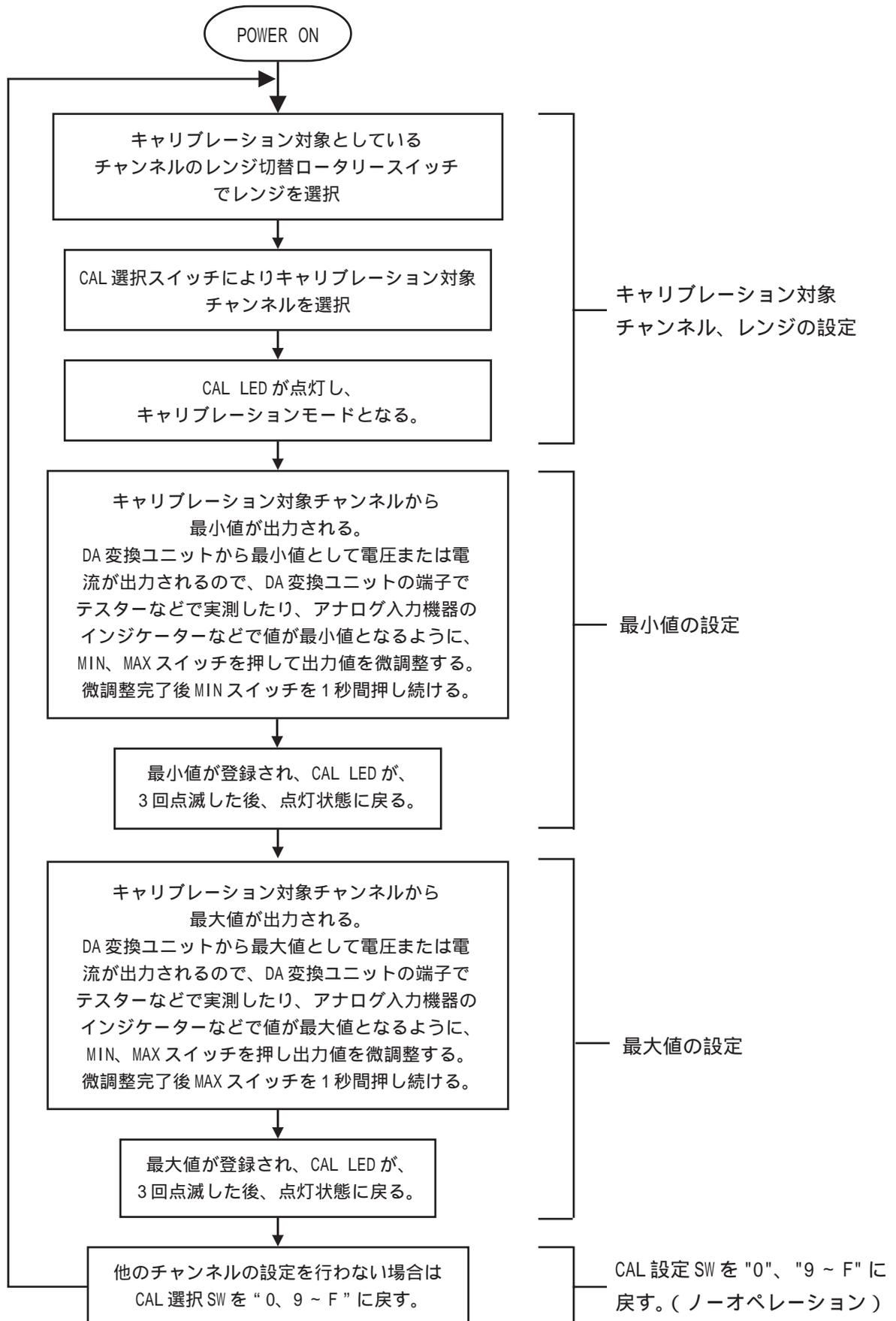
- ・ 本ユニットのオートキャリブレーション (自動調節機能) によって実際の入力値や出力値を設定された値となるよう補正をかけます。

4チャンネルアナログ/デジタル変換ユニット (FN-AD04AH11)
アナログ入力のキャリブレーション設定



4チャンネルデジタル/アナログ変換ユニット (FN-DA04AH11)

アナログ出力のキャリブレーション設定



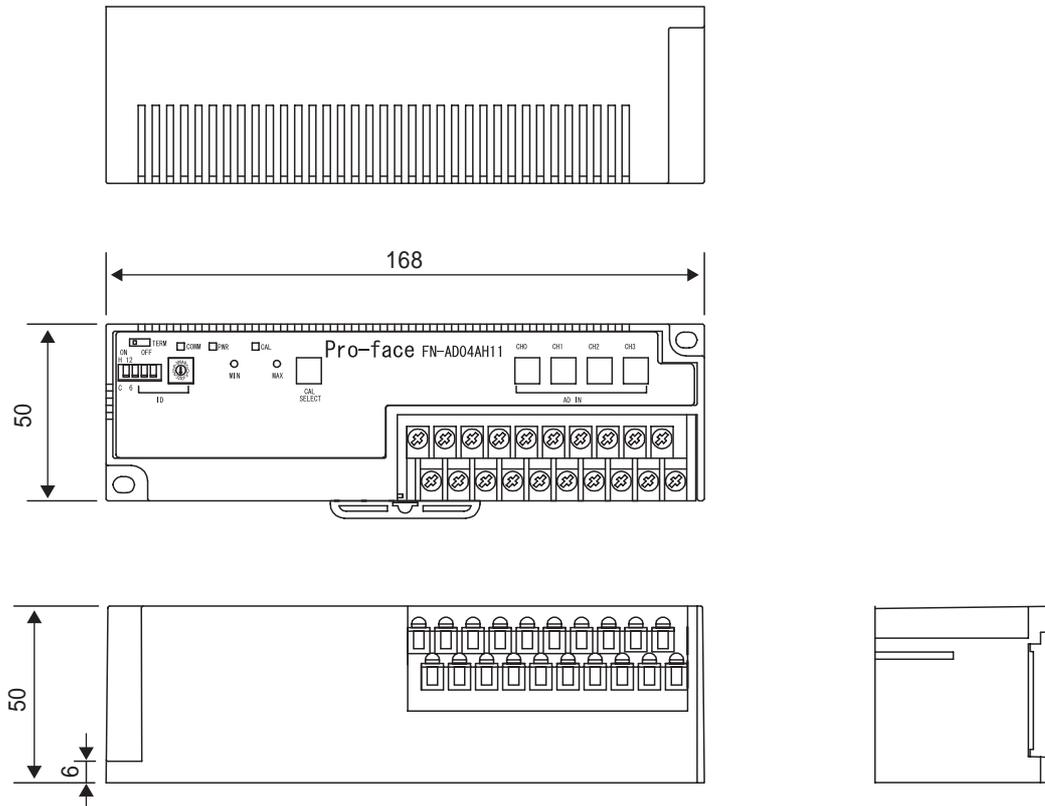
2.7 外観図と各部寸法図

Flex Network アナログユニットの外観図を示します。

以下に示す寸法はアナログユニット各種共通の寸法です。

2.7.1 Flex Network アナログユニット外観図

単位：mm



第3章 設置と配線

1. 取り付け方法
2. 配線について

Flex Networkアナログユニットの取り付け方法および配線方法を説明します。

3.1 取り付け方法

Flex Networkユニットの取り付け方法や設置する上での注意について説明します。



警告

作業をする前に

- ・ Flex Networkアナログユニットの取り付けは、感電の危険性がありますので電源が供給されていないことを必ず確認して作業を行ってください。

3.1.1 Flex Networkアナログユニットの取り付け / 取り外し

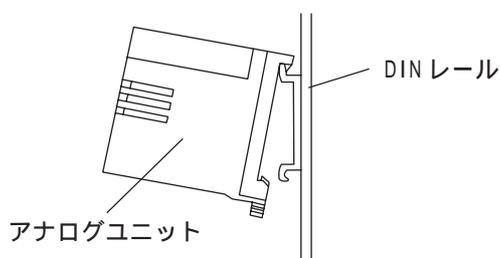
Flex NetworkアナログユニットをDIN レールまたは盤に取り付けます。

DIN レールの場合

DIN レール (35mm) に取り付けます。

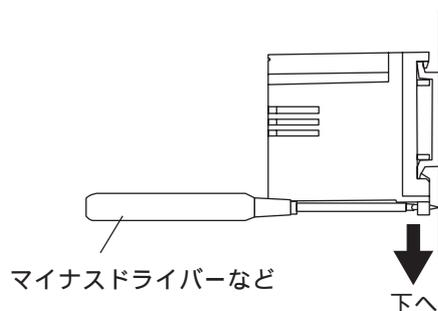
取り付け

ユニット上部の溝をDINレールに引っかけ、下部をカチッと音がするまで押し込むようにはめ込むと取り付けられます。



取り外し

ドライバーなどで取り外しフックを矢印の方向に押し下げながらユニット下部を前方に引き出すと取り外せます。

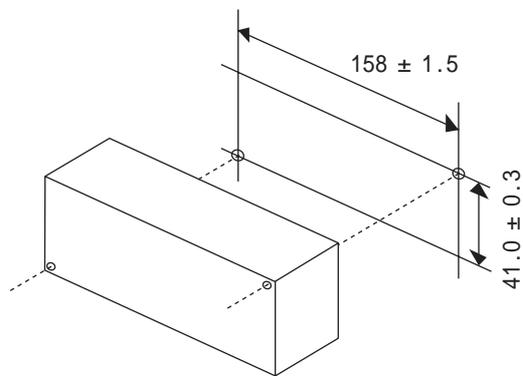
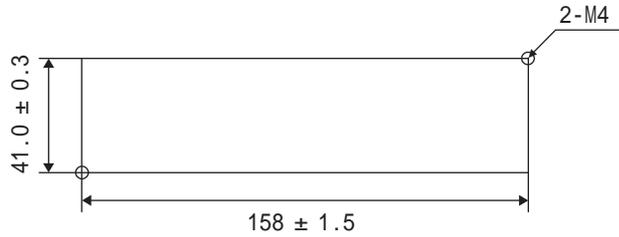


- 重要** ・ アナログユニットの上下を確認し、必ず垂直面に正しく取り付けてください。間違った取り付けを行うと放熱が妨げられ、熱暴走を起こす可能性があります。

ネジ取り付けの場合

以下の取り付け穴図に従って取り付け穴を加工し、M4のネジで固定します。しめつけトルクは、1.0 ~ 1.3N・mです。

単位：mm



3.2 配線について

各種ケーブルの配線に使用するケーブルと圧着端子について説明します。



警告

- Flex Networkユニットの配線は、感電の危険性がありますので電源が供給されていないことを必ず確認して作業を行ってください。

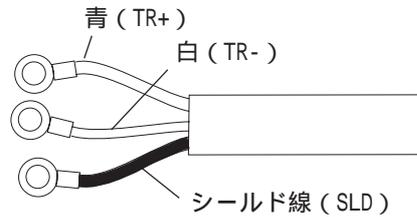
3.2.1 Flex Network 通信ケーブル

分散配置された各Flex Networkユニットを渡り配線にて接続します。(T型分岐はできません)
Flex Network通信ケーブルには、以下のものを使用してください。

| 販売元 | 型式 | 販売単位 |
|----------|--------------------|------|
| (株) デジタル | FN-CABLE2050-31-MS | 50m |
| | FN-CABLE2200-31-MS | 200m |
| | FN-CABLE2010-31-MS | 10m |

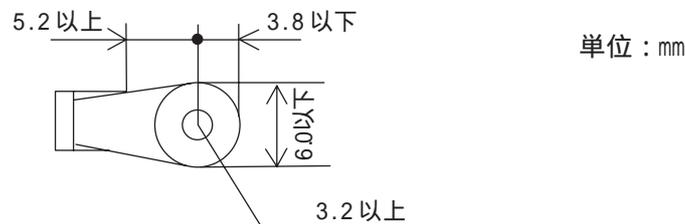
Flex Network I/O ユニット側

ケーブルの配線は以下のようにしてください。



- 重要** ・ シールド線には、テーピングまたは絶縁チューブをかぶせてください。

圧着端子には以下の条件のものを使用してください。



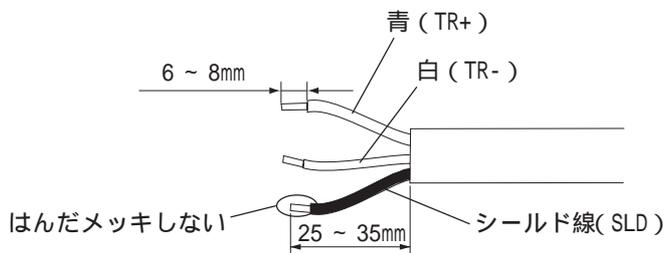
- 重要** ・ 絶縁被覆付き圧着端子を使用してください。絶縁被覆のない圧着端子を使用する場合は、テーピングまたは絶縁チューブをかぶせてください。



- ・ 端子ネジの締め付けトルクは0.6 ~ 1.0N・mです。

Flex Network I/F 側

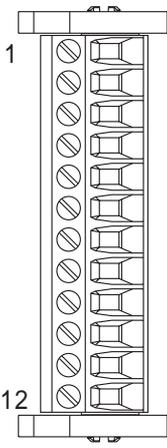
電線の被覆を剥いで、芯線をよじり接合部へ挿入します。



- 重要** ・ シールド線にはテーピングまたは絶縁チューブをかぶせてください。
 ・ 芯線は、はんだメッキしないでください。接触不良の原因となります。

GLC2400/GLC2500/GLC2600 シリーズに接続する場合

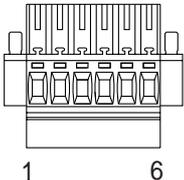
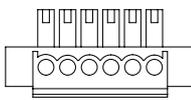
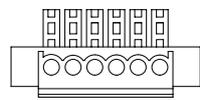
<スクリューロック端子台(太枠内)>

| ピンコネクション | ピン番号 | 信号名 | 内容 | | |
|---|------|----------|---------------|----------------|--------|
|  | 1 | AUXCOM | 外部リセット共通 | 外部リセット | |
| | 2 | AUXRESET | 外部リセット入力 | | |
| | 3 | TR+ | 回線1通信データ | Flex Network通信 | |
| | 4 | TR- | | | |
| | 5 | SLD | 回線1ケーブル・シールド線 | | |
| | 6 | TR+ | 回線2通信データ | | |
| | 7 | TR- | | | |
| | 8 | SLD | 回線2ケーブル・シールド線 | | |
| | 9 | RESERVE | 予約 | | - |
| | 10 | SP OUT | スピーカ出力 | | サウンド出力 |
| | 11 | GND | グランド | | |
| | 12 | LINE OUT | サウンドラインアウト出力 | | |

適合コネクタ：日本ワイドミュラー(株)製 BL3.5/12LH

GLC2300/LT/GP3000 シリーズに接続する場合

<スクリューロック端子台>

| ピン番号 | 信号名 | 内容 | ピンコネクション | | |
|------|-----|---------------|---|---|---|
| | | | GLC2300シリーズ | LTシリーズ | GP3000シリーズ |
| 1 | TR+ | 回線1通信データ |  |  |  |
| 2 | TR- | | | | |
| 3 | SLD | 回線1ケーブル・シールド線 | | | |
| 4 | TR+ | 回線2通信データ | | | |
| 5 | TR- | | | | |
| 6 | SLD | 回線2ケーブル・シールド線 | | | |

適合コネクタ

GLC2300 シリーズ：日本ワイドミュラー(株)製 BL3.5/6/90F

LT シリーズ：フェニックス・コンタクト(株)製 MC1,5/6-STF-3,81

GP3000 シリーズ：タイコ エレクトロニクス アンパ(株)製 284510-6

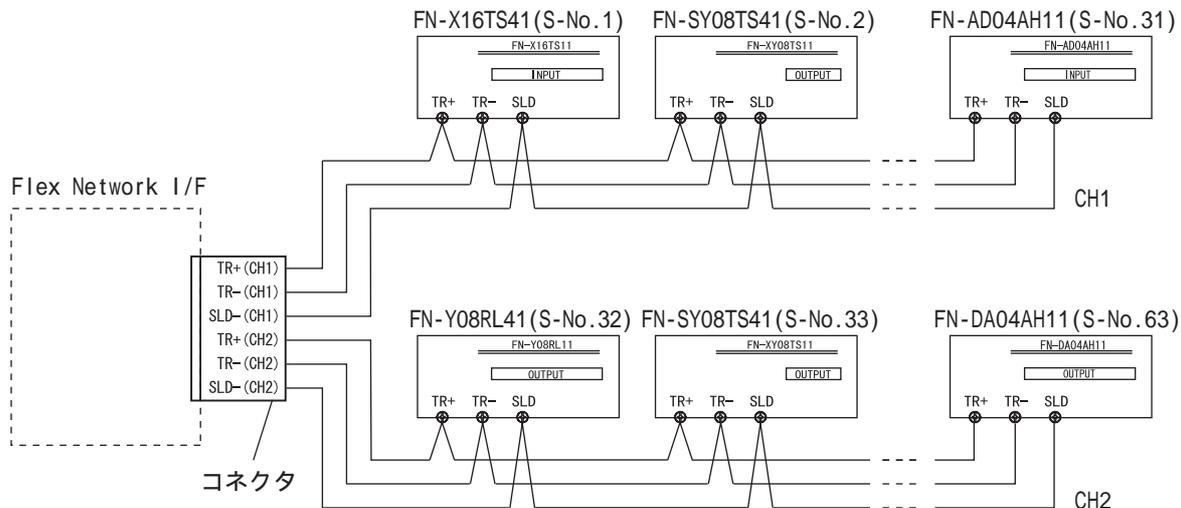


- 端子ネジをしめつける時は、小型マイナスドライバをご使用ください。(刃先厚：0.4mm、長さ2.5mm)
- 芯線のよじりが適切でないと、芯線のヒゲ線同士、またはヒゲ線と隣の電極とが短絡する恐れがありますのでご注意ください。棒端子を使用される場合は、以下に示す推奨棒端子をご確認ください。

| 機種 | 推奨棒端子 |
|-------------|--|
| GLC2000シリーズ | 日本ワイドミュラー(株)製 H0.5/6、H0.75/6、H1/6 |
| LTシリーズ | フェニックス・コンタクト(株)製 A10.5-6WH、A10.3-6TQ |
| GP3000シリーズ | タイコ エレクトロニクス アンパ(株)製 *-966 067-* 相当品 AWG28～16に適應するものを選択してください。 |

Flex Network 全体配線図

Flex Network I/FコネクタからCH1およびCH2に渡り配線で接続した全体図の例を示します。



3.2.2 ユニット電源ケーブル

Flex Network アナログユニットの電源ケーブルを配線します。

警告

- ・ 感電の恐れがありますので、必ず電源が供給されていない状態で接続してください。
- ・ アナログユニットはDC24V入力専用です。機種に適合していない電源または、極性を誤った電源を供給すると、電源および本体が破損します。
- ・ アナログユニット本体には電源スイッチがないため、ブレーカーを取り付けてください。

- ・ できるだけ太い電線(最大1.25mm²)を使用し、必ず根本からツイストしてください。
- ・ 圧着端子はFlex Network通信ケーブルと同じものを使用してください。
参照 3.2.1 Flex Network 通信ケーブル

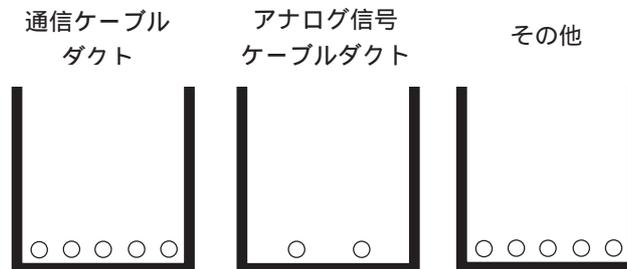
3.2.3 アナログ入出力ケーブル

- ・ アナログ入出力ケーブルは、0.9mm程度の2芯ツイストシールドケーブル線をご使用ください。(CPEV-S 0.9mm以上 2芯1対シールド付き)
- ・ 圧着端子はFlex Network通信ケーブルと同じものを使用してください。
参照 3.2.1 Flex Network 通信ケーブル

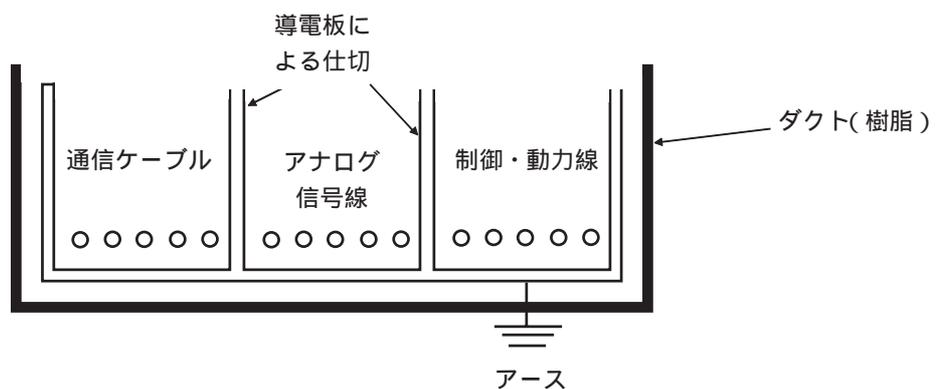
- 重要** ・ 使用しない端子も含めてすべての端子ネジは必ず締め付けてください。

3.2.4 通信ケーブル配線時の注意事項

通信ケーブルやアナログ入出力ケーブル(アナログ信号)の配線は、動力線とは別ダクトにして、動力線から誘導ノイズ・誘導電力の影響を受けない距離をおいてください。



同一ダクトに収納するときは、アースした導電板にて仕切ってください。



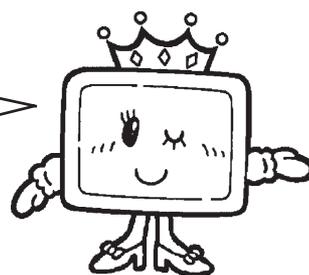
- ・ 動力線を別の配線系統にできないときには、シールド線を使用して、シールド端を接地してください。

重要

- ・ 信頼性の高いシステムにするには、ノイズの影響を受けにくい外部配線にしてください。
- ・ DC入出力配線や交流回路の配線とアナログ入出力ケーブルとは、別ダクトを使用してサージや誘導ノイズを受けないようにして下さい。
- ・ アナログ入出力配線は高電圧線、大電流線、インバータなどの高周波線および動力線とは、近接したり、束線せず、別ダクトにしてください。ノイズによる誤動作の恐れがあります。
- ・ 本アナログ入出力配線は、2芯シールド線を使用しますが、シールド線は本ユニットのFGに必ず接続して下さい。

MEMO

このページは、空白です。
ご自由にお使いください。



第4章 異常処理

1. トラブルシューティングの前に
2. エラーコードの表示方法
3. GLC2000/LT シリーズの異常処理
4. GP3000 シリーズの異常処理
5. アフターサービス

Flex Networkシステムに何らかのトラブルが生じた場合のおもな対処法について説明します。

4.1 トラブルシューティングの前に

「トラブルシューティング」でトラブルの原因をチェックする前に、トラブルの大別および基本的な項目について点検してください。

Flex Networkで発生するトラブルは、大別すると以下の3つが考えられます。

- (1) ロジックプログラムの問題
 - ・ロジックプログラムがRUN (GLCのステータスLED：緑色点灯) していない
- (2) Flex Network I/Fの問題
 - ・すべてのFlex Networkユニットと通信できない
- (3) Flex Networkユニットの問題
 - ・特定のFlex Networkユニットの全点、または数点が入出力できない

点検項目

以下の項目をチェックした上で、トラブルシューティングを行い、原因を見つけて対処してください。

GLC本体、Flex Networkユニットに電源が供給されているか？

GLC本体、Flex Networkユニットの電源電圧は許容電圧範囲内か？

接続ケーブルの配線、接続の状態(通信ケーブル、I/Oケーブル)に問題はないか？

Flex Networkユニットの端子部にゆるみや断線はないか？

Flex Networkユニットの各種設定スイッチ(S-No. スイッチ、ディップスイッチ、ターミナルスイッチ)は適切に設定されているか？

通信ケーブルには指定ケーブルを使用しているか？

4.2 エラーコードの表示方法

I/Oドライバのエラーコードを示すシステム変数を利用して、GLCの画面上にエラーコードを表示することにより、トラブルシューティングを迅速に進めることができます。

| 機種 | システム変数 |
|----------------|-------------|
| GLC2000/LTシリーズ | #IOStatus |
| GP3000シリーズ | #L_IOStatus |

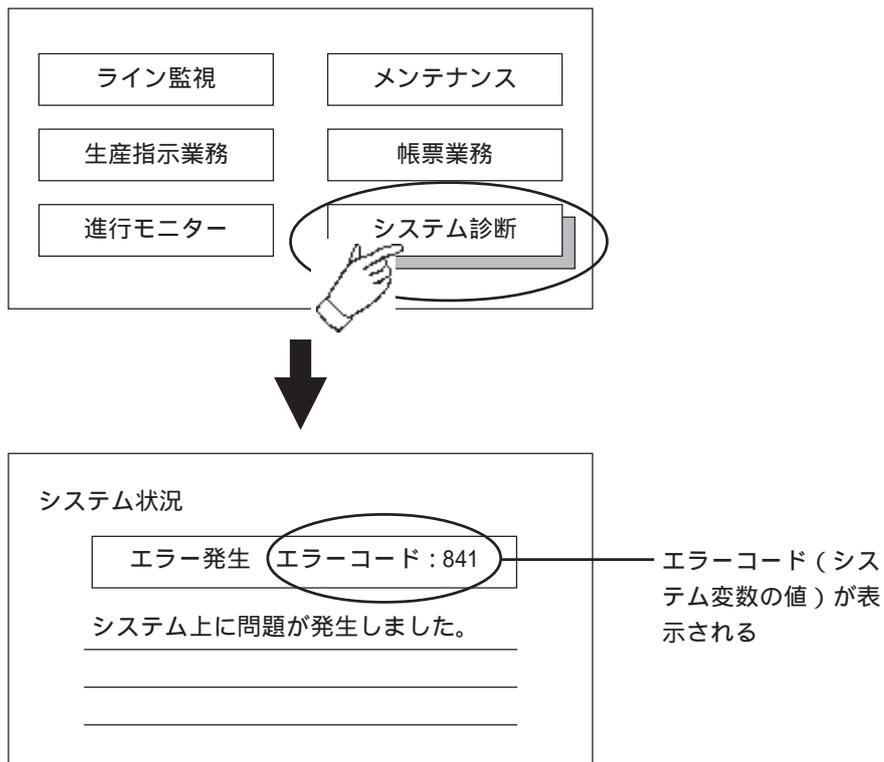


・ GP3000シリーズでは、システム変数を使わなくてもGP画面上のシステムウィンドウにエラーコードが表示されます。

以下にエラーコードを表示させるアプリケーション例を示します。

アプリケーション例

- (1) I/Oシステム診断のためのボタンを作成します。
- (2) 「システム診断」ボタンを押すと、システムの状況をエラーコードで表示するようなラダーを作成します。



4.3

GLC2000/LTシリーズの異常処理

4.3.1

GLC2000/LTシリーズのトラブルシューティング

| 症状 | チェック項目 | 処置 |
|---|--|---|
| アナログユニットの電源が入らない (PER - LED が点灯しない) | DC24Vケーブルは、正しく接続されていますか？ | 正しく接続してください。 |
| | DC24V電源電圧は正常ですか？ | DC24V電源、ケーブルを調べてください。 |
| アナログユニットが正しく動作しない (ERR - LEDが点灯する) | 通信ケーブルは、正しく接続されていますか？ | 正しく接続してください。 |
| | 最終端の子局で、終端抵抗スイッチがONになっていますか？ | 終端抵抗をONにしてください。 |
| | S-No (局番) は正しく設定されていますか？ | ディップスイッチを正しく設定してください。 |
| アナログ出力が出ない、あるいは正常な出力電圧 (電流) とならない | 負荷側電源電圧は正常ですか？ | DC24Vを供給してください。 |
| | S-No (局番) は正しく設定されていますか？ | ディップスイッチを正しく設定してください。 |
| | キャリブレーションが正しく行われていますか？ | キャリブレーションの設定方法を参考に設定を行ってください |
| | キャリブレーション選択スイッチが無効以外の設定 (1~9) になっていませんか？ | キャリブレーション設定完了後は選択スイッチを無効 (0、9~F) にしてください。 |
| | レンジ切り替えロータリースwitchは正しく設定されていますか？ | チャンネル毎に使用するレンジを設定してください。 |
| アナログ入力してもデータが変化しない、あるいは正常な入力電圧値 (電流値) とならない | 負荷側電源電圧は正常ですか？ | DC24Vを供給してください。 |
| | 入力側の接続は正しいですか。 | 接続図を参考に接続してください。 |
| | キャリブレーションが正しく行われていますか？ | キャリブレーションの設定方法を参考に設定を行ってください |
| | キャリブレーション選択スイッチが無効以外の設定 (1~9) になっていませんか？ | キャリブレーション設定完了後は選択スイッチを無効 (0、9~F) にしてください。 |
| | レンジ切り替えロータリースwitchは正しく設定されていますか？ | チャンネル毎に使用するレンジを設定してください。 |

4.3.2 GLC2000/LTシリーズのエラーコード一覧

ここでは運転中にエラーが発生した場合のエラーコードを記します。

構造化エラー

| エラーコード | 定義 |
|--------|--------------------------|
| 501 | I/Oターミナルに割り当てられる内部変数 |
| 502 | 出力ターミナルに割り当てられる入力変数 |
| 503 | 入力ターミナルに割り付けられる出力変数 |
| 504 | 整数ターミナルに割り当てられるディスクリット変数 |
| 505 | ディスクリットターミナルに割り当てられる整数変数 |
| 506 | ドライバでサポートされない変数タイプ |
| 507 | ターミナルに変数が割り当てられていません。 |
| 801 | ターミナル番号が重複しています。 |
| 802 | S-No. が重複しています。 |
| 803 | S-No. が範囲を超えました。 |
| 804 | アナログユニットでS-No. が重複しています。 |
| 805 | カウンタユニットでS-No. が重複しています。 |
| 806 | 位置決めユニットでS-No. が重複しています。 |

初期化エラー

| エラーコード | 定義 |
|--------|-------------------------------|
| 821 | ハードウェアユニットがありません。またはタイプが不正です。 |
| 822 | イニシャル異常 |
| 823 | アナログユニット設定異常 |

ランタイムエラー

| エラーコード | 定義 |
|--------|--|
| 841 | 接続されていたI/Oユニットの中に異常（断線、故障）があります。 |
| 842 | アナログ入力ユニットに異常（断線、故障）があります。 (入力レンジ：4～20mA設定時) |
| 843 | 高速カウンタユニットに異常があります。 詳細はコマンドによりユニットからのエラーコードを参照してください。 参照→Flex Network 高速カウンタユニットユーザズマニュアル |
| 844 | 高速カウンタユニットのイニシャル異常 |
| 845 | 高速カウンタユニットとの通信異常 |
| 846 | 1軸位置決めユニットに異常があります。 詳細はコマンドによりユニットからのエラーコードを参照してください。 参照→Flex Network 1軸位置決めユニットユーザズマニュアル |
| 847 | 1軸位置決めユニットとの通信異常 |

内部エラー

| エラーコード | 定義 |
|--------|---|
| 850～ | ドライバエラー #850 (株) デジタルお客様センターまでお問い合わせください。 http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1015.html |

4.4 GP3000 シリーズの異常処理

4.4.1 GP3000 シリーズのトラブルシューティング

| 症状 | チェック項目 | 処置 |
|---|--|---|
| アナログユニットの電源が入らない (PER - LED が点灯しない) | DC24Vケーブルは、正しく接続されていますか？ | 正しく接続してください。 |
| | DC24V電源電圧は正常ですか？ | DC24V電源、ケーブルを調べてください。 |
| アナログユニットが正しく動作しない (ERR - LEDが点灯する) | 通信ケーブルは、正しく接続されていますか？ | 正しく接続してください。 |
| | 最終端の子局で、終端抵抗スイッチがONになっていますか？ | 終端抵抗をONにしてください。 |
| | S-No (局番) は正しく設定されていますか？ | ディップスイッチを正しく設定してください。 |
| アナログ出力が出ない、あるいは正常な出力電圧 (電流) とならない | 負荷側電源電圧は正常ですか？ | DC24Vを供給してください。 |
| | S-No (局番) は正しく設定されていますか？ | ディップスイッチを正しく設定してください。 |
| | キャリブレーションが正しく行われていますか？ | キャリブレーションの設定方法を参考に設定を行なってください |
| | キャリブレーション選択スイッチが無効以外の設定 (1~9) になっていませんか？ | キャリブレーション設定完了後は選択スイッチを無効 (0、9~F) にしてください。 |
| | レンジ切り替えロータリースwitchは正しく設定されていますか？ | チャンネル毎に使用するレンジを設定してください。 |
| アナログ入力してもデータが変化しない、あるいは正常な入力電圧値 (電流値) とならない | 負荷側電源電圧は正常ですか？ | DC24Vを供給してください。 |
| | 入力側の接続は正しいですか。 | 接続図を参考に接続してください。 |
| | キャリブレーションが正しく行われていますか？ | キャリブレーションの設定方法を参考に設定を行なってください |
| | キャリブレーション選択スイッチが無効以外の設定 (1~9) になっていませんか？ | キャリブレーション設定完了後は選択スイッチを無効 (0、9~F) にしてください。 |
| | レンジ切り替えロータリースwitchは正しく設定されていますか？ | チャンネル毎に使用するレンジを設定してください。 |

4.4.2 GP3000シリーズのエラーコード一覧

ここでは運転中にエラーが発生した場合のエラーコードを記します。



・ GP画面上のシステムウィンドウでは、エラーコードの前にRGE*を付けて表示されます。

例) RGE*001 ユニット型式異常

構造化エラー

| エラーコード | エラーメッセージ | 内容 |
|--------|--------------|---|
| 001 | ユニット型式異常 | ユニットの型式が違います。 |
| 002 | 設定値異常 | Flex Networkユニットに割り当たっているシンボル変数の型に異常があります。Flex Networkユニットの設定値に異常があります。 |
| 003 | デバイス範囲外エラー | Flex Networkユニットに割り当たっているシンボル変数のアドレスが範囲外の設定です。 |
| 004 | ターミナル設定が重複 | Flex Networkユニットのターミナル数の制限数を超過して設定しています。 |
| 005 | ターミナル設定順異常 | I/Oターミナル番号が昇順で設定されていません。 |
| 006 | ターミナル登録数不足 | 適正なI/Oターミナル数ではありません。 |
| 007 | ユニット設定が重複 | Flex NetworkユニットのS-No. が重複して設定されています。 |
| 008 | ユニット設定が過多 | Flex Networkユニットの最大接続台数(63台)を超えました。 S-No.の最大値(S-No.63)を超えました。 2局以上占有するFlex NetworkユニットのS-No.が最大(S-No.63)を超えました。 |
| 009 | ドライバ設定が重複 | ドライバが2重登録されています。 |
| 010 | 入出力の設定が不一致 | Flex Networkユニットの入出力設定が正しくありません。 |
| 011 | ビット/整数型が不一致 | Flex Networkユニットで指定している変数型設定が正しくありません。 |
| 012 | 設定レベル値の異常 | I/Oドライバに異常があります。 |
| 013 | データ取得アドレス異常 | I/Oドライバ情報が正しくありません。 コントローラ情報が正しくありません。 |
| 014 | ドライバ/ユニット未登録 | I/OドライバまたはFlex Networkユニットが未登録状態になりました。 |

ランタイムエラー

| エラーコード | エラーメッセージ | 内容 |
|--------|----------------|---|
| 100 | I/Oユニット通信エラー | 本体とFlex Networkユニット間に通信エラーが発生しました。 通信ケーブルが断線、Flex Networkユニットが未接続、エディターの設定に問題があります。 |
| 101 | 4ch. アナログ設定エラー | 4ch. アナログユニットと通信できませんでした。 |
| 102 | 2ch. アナログ設定エラー | 2ch. アナログユニットと通信できませんでした。 |
| 103 | アナログ接続の断線 | 4ch. 2chアナログユニットの4-20mAレンジの入力信号が断線しています。 |
| 104 | カウンタユニットエラー | 高速カウンタユニットでエラーが発生しました。詳細はコマンドによりユニットからのエラーコードを参照してください。参照 Flex Network 高速カウンタユニットユーザーズマニュアル |
| 105 | カウンタ初期化エラー | 高速カウンタユニットの初期化に失敗しました。 |
| 106 | カウンタ通信エラー | 高速カウンタユニットとの通信エラーが発生しました。 通信ケーブルが断線、高速カウンタユニットが未接続、エディターの設定に問題があります。 |
| 107 | 位置決めユニットエラー | 位置決めユニットでエラーが発生しました。詳細はコマンドによりユニットからのエラーコードを参照してください。参照 Flex Network 1軸位置決めユニットユーザーズマニュアル |
| 108 | 位置決め通信エラー | 位置決めユニットとの通信エラーが発生しました。 通信ケーブルが断線、位置決めユニットが未接続、エディターの設定に問題があります。 |
| 109 | 2ch. アナログ通信エラー | 2ch. アナログユニットとの通信エラーが発生しました。 通信ケーブルが断線、2ch. アナログユニットが未接続、エディターの設定に問題があります。 |

内部エラー

| エラーコード | エラーメッセージ | 内容 |
|--------|--------------|--|
| 200 | 整数型データ読込エラー | Flex Networkユニットの整数型ターミナルのデータ値を読み出しできませんでした。 |
| 201 | ビット型データ読込エラー | ビット型ターミナルのデータ値読み出しができませんでした。 |
| 202 | 整数型データ書込エラー | 整数型ターミナルのデータ値書き込みができませんでした。 |
| 203 | ビット型データ書込エラー | ビット型ターミナルのデータ値書き込みができませんでした。 |

4.5 アフターサービス

アフターサービスの詳細は、(株)デジタルWebサイトを参照してください。

<http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1001.html>

索引

D

DIN レール 3-1

F

Flex Network 対応機種 7

Flex Network 通信ケーブル 3-3

Flex Network ユニットとは 6

ア

アナログ特性図 2-4

アナログ入出力回路図 2-6

アナログ入出力接続図 2-6

アフターサービス 4-8

安全に関する使用上の注意 4

イ

異常処理 4-1, 4-2, 4-3

エ

エラーコード一覧 4-4, 4-6

エラーコードの表示方法 4-2

カ

外観仕様 2-2

外観図 2-14

各種ユニット一覧 1-3

各部名称とその機能 2-8

環境仕様 2-1

コ

構造化エラー 4-4, 4-6

シ

システム構成 1-1

出力ホールドの設定 2-10

初期化エラー 4-4, 4-6

ツ

通信仕様 2-2

テ

電氣的仕様 2-1

電源ケーブル 3-6

ト

ドライバ 7

トラブルシューティング 4-1, 4-3, 4-5

取り付け 3-1

ナ

内部エラー 4-4, 4-7

ハ

配線 3-3, 3-7

ユ

ユニット電源ケーブル 3-6

ラ

ランタイムエラー 4-4, 4-7

MEMO

このページは、空白です。
ご自由にお使いください。

